資料２

米原市幼稚園の在り方検討委員会設置の経緯・目的について

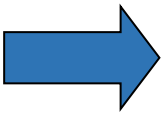
１　市内の就学前教育・保育施設の現状と山東幼稚園

（１）　市内就学前教育・保育施設の現状

市内の就学前教育・保育施設は平成 22 年３月に策定した幼保一元化推進プランにより、保育園、幼稚園の統廃合などを地域の実情に応じて行ってきました。その結果、平成 22 年度時点では市内全体で 15 園立地していた就学前教育・保育施設が、令和３年度時点では市内施設は 11 園となっています。

・平成 22 年度と令和３年度市内就学前教育・保育施設数比較

H22	
認定こども園	１園
保育園	10園
幼稚園	４園
市内施設計	**15園**



R3	
認定こども園	７園
保育園	３園
幼稚園	１園
市内施設計	**11園**

また、山東幼稚園が立地する山東地域（旧山東町域）は民間認定こども園２園、民間保育園１園、公立施設である山東幼稚園の４園で地域の就学前の子どもに教育・保育を提供しています。

山東地域の各小学校区の施設別利用者数を比較すると、柏原小学校区が柏原こども園、山東小学校区が長岡学園、大原小学校区が大原保育園の利用者の人数が多い状況となっています。

表１　R3.4.1 時点の３～５歳児の各小学校区施設別利用者の人数

	山東幼稚園	柏原こども園	長岡学園	大原保育園	その他	計
柏原小学校区児童就園先	3人	**35人** **（8人）**	1人 （0人）	0人	2人	41人
山東小学校区児童就園先	13人	3人 （0人）	**46人** **（12人）**	0人	6人	68人
大原小学校区児童就園先	23人	3人 （1人）	20人 （3人）	**74人**	14人 （2人）	134人

※　（）内の人数は認定こども園短時部利用者人数になります。

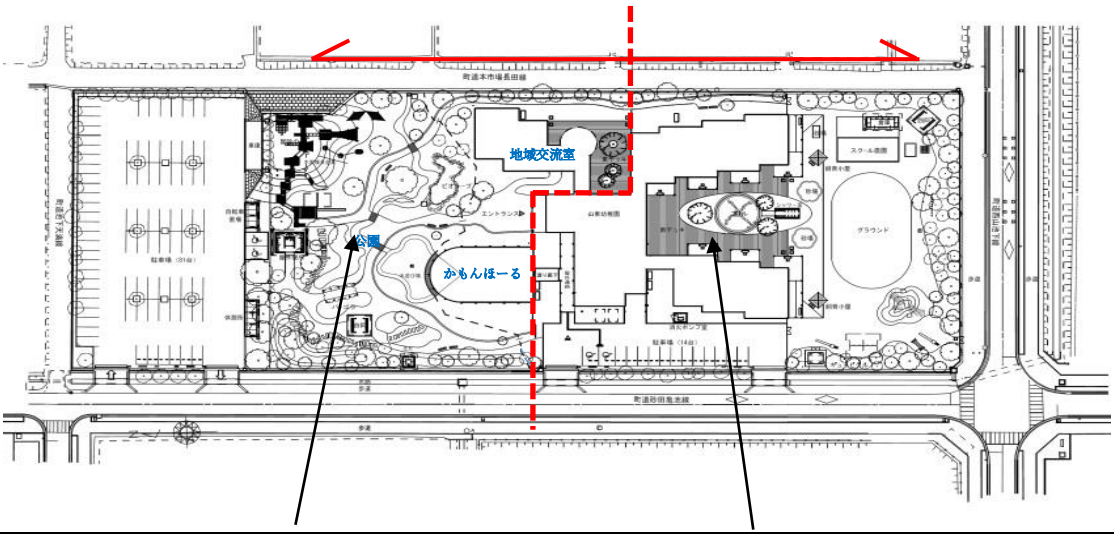
※　未就園児等は含まれていません。

（２）　山東幼稚園について

山東幼稚園は、施設の耐震性や老朽化などを背景に４つの幼稚園（柏原・東・西・大原）を統合整備し、平成 15 年に開園しました。当初は 4.5 歳児の２年保育を実施していましたが、平成 20 年度からは 3～5 歳児の３年保育を実施する幼稚園として現在に至ります。

またあわせて天狗の丘公園も同時に開園し、公園内に設置している大型木製遊具等は山東幼稚園利用者だけではなく市外からの利用者など、幅広く活用されている状況となっています。

・　**山東幼稚園・天狗の丘公園施設図**



	天狗の丘公園	山東幼稚園
施設概要	公園（大型木製遊具、四阿、パーゴラ等）　3,500 ㎡ 地域交流室２室、絵本室、ホール（かもんほーる）、屋外デッキ 林野庁補助（木材産業経営革新公共施設整備事業　補助率１／２）	園舎　木造平屋建　1,363 ㎡ 保育室７室、幼児用便所、教材室、職員室等 文部科学省補助（幼稚園施設整備事業等　補助率１／３） 定員：110 人
施設の外観		

山東幼稚園の周辺環境は園庭からは雄大な伊吹山を望められ、付近には三島池やほたる川があり、園舎周辺は恵まれた自然環境に囲まれています。

また、山東幼稚園では異年齢交流から生まれる育ちを大切にし、異年齢の子どもたちが交流する機会を積極的に設けています。

このため、山東幼稚園に通園する子どもたちは周辺の自然豊かな環境と異年齢の園児たちとの交流がある充実した環境で成長し、日々過ごしています。

三島池

山東幼稚園異年齢交流の様子

2　山東幼稚園の現状と課題

現状・課題Ⅰ　就園児数の減少

（1）　就園児数の減少について

山東幼稚園の就園児数は、平成 22 年度の 131 人をピークに減少しています。また、近年の就園児数は、39 人とピーク時の１／３を下回る状況となり、令和２年度の新入園児にあっては６人と特に少なく、園での集団生活の中で培われていく対人関係能力、社会適応力の育成が課題となっています。

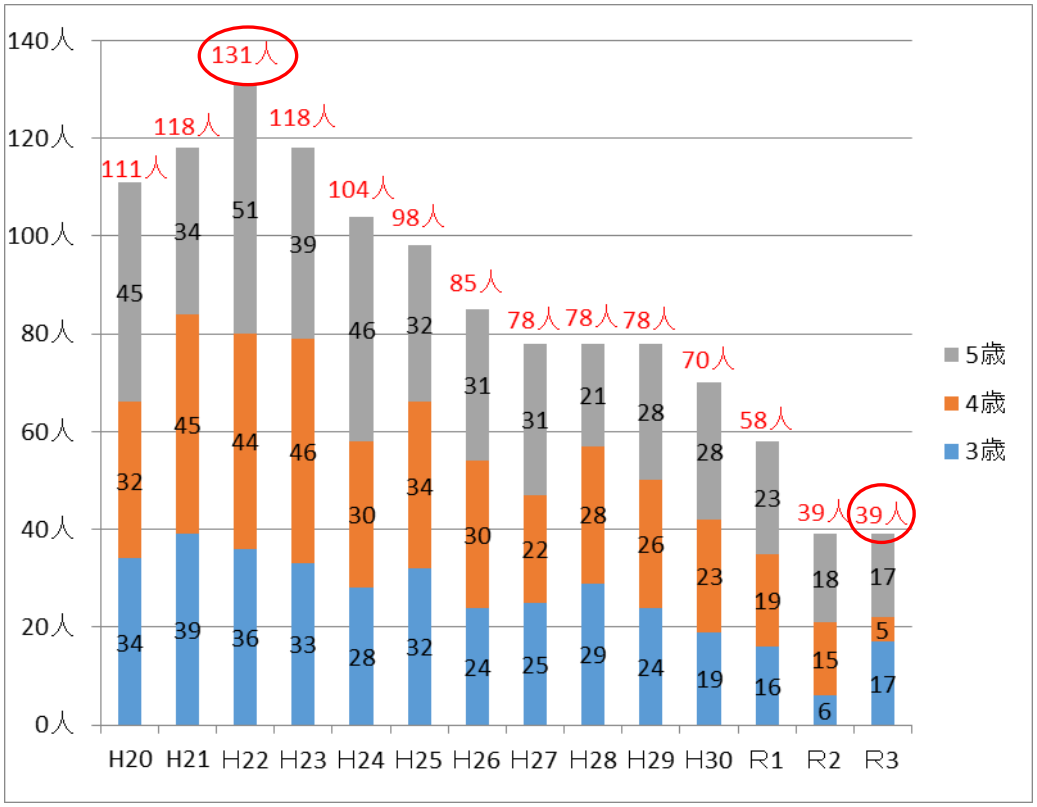


図１　「山東幼稚園４月１日時点利用者数推移」

(2)　背景

①　山東地域の人口の減少

山東地域人口は減少傾向にあり平成 20 年度と令和３年度で比較すると過去 13 年で約 14%程度減少し、３～５歳児の人口については約 33%程度減少する状況となっています。

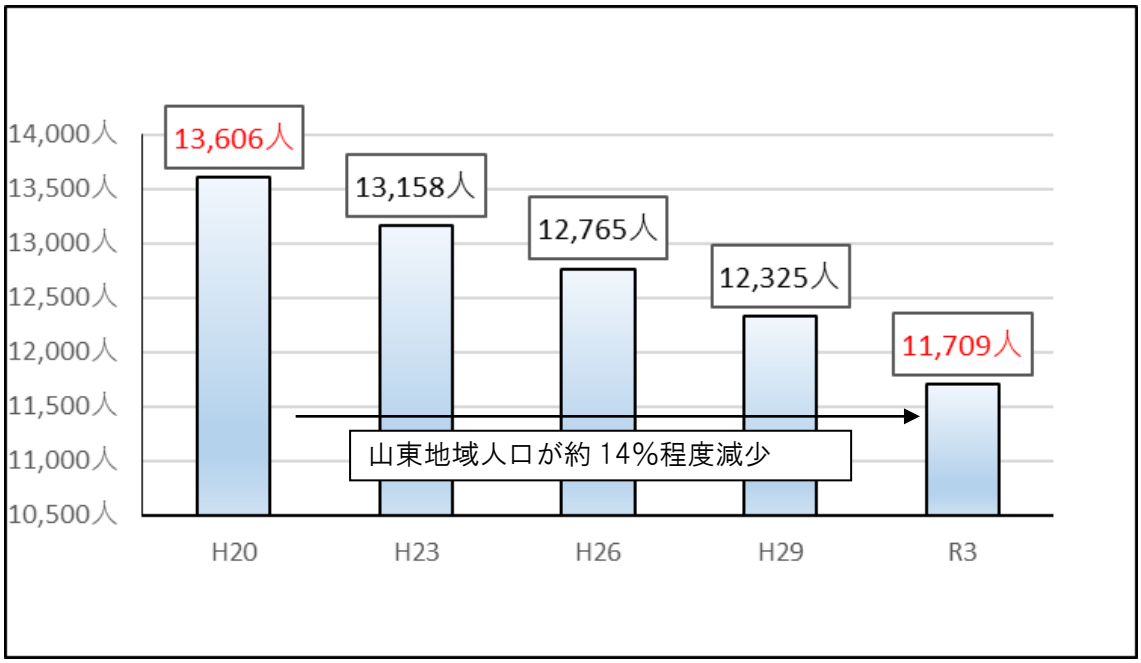


図２　「山東地域４月１日時点人口推移」

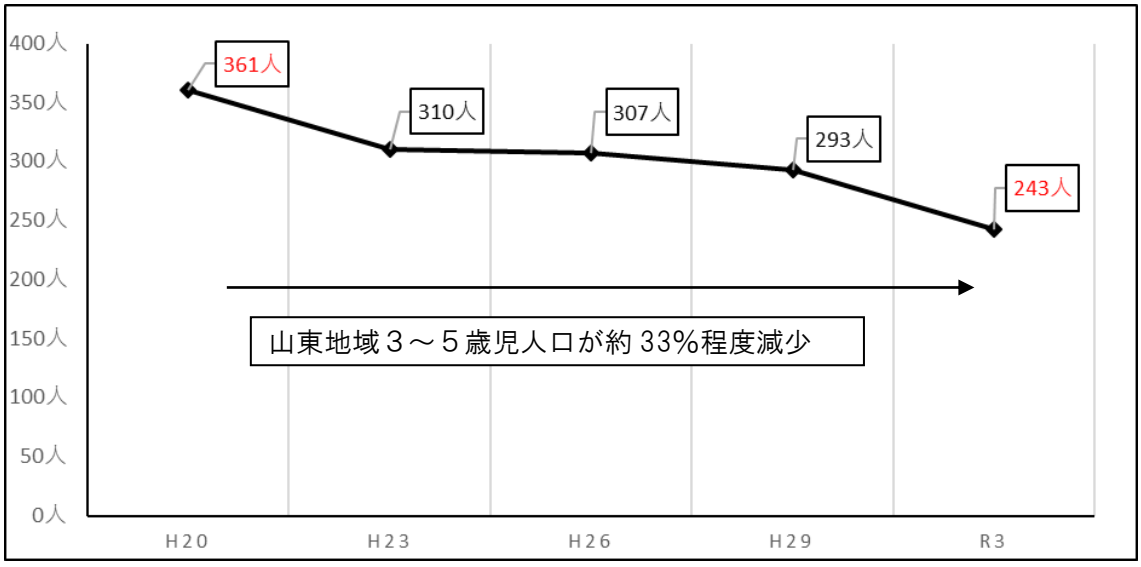


図３　「山東地域３～５歳児４月１日時点総人口推移」

②　保育所、認定こども園利用希望者の増加

山東地域内の幼児教育・保育施設の過去の利用状況を比較すると、幼稚園を選択する保護者が減少し、保育所、認定こども園を選択する保護者が増加しています。

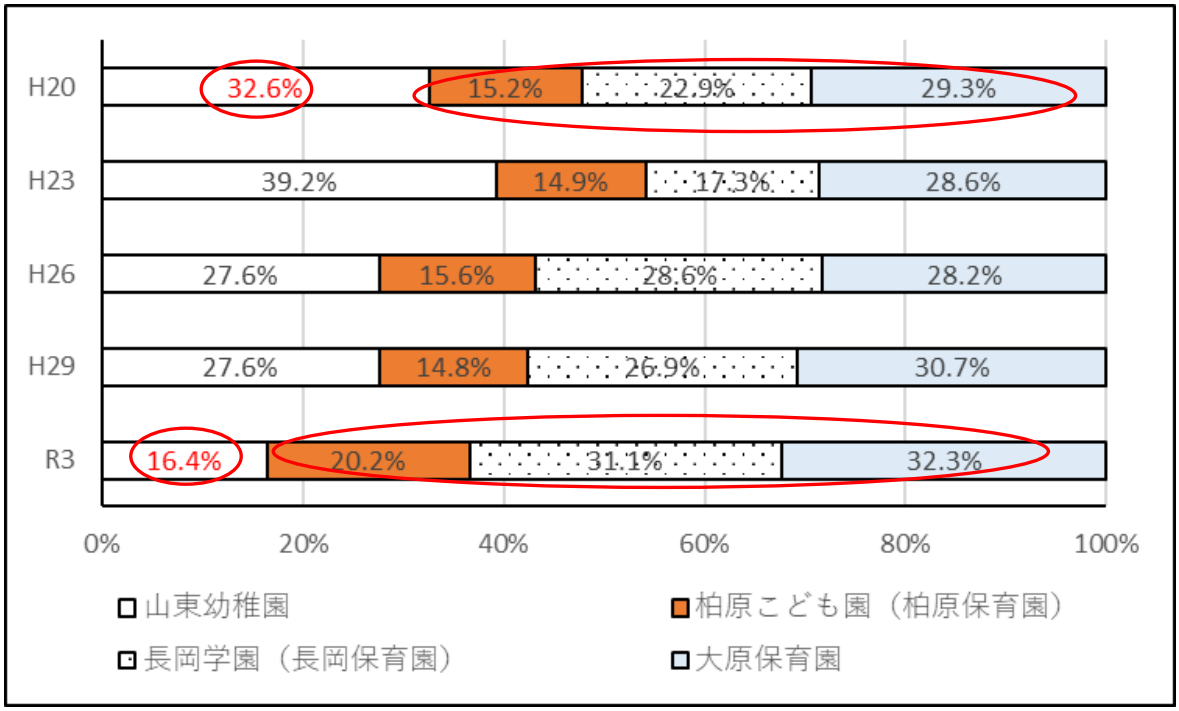


図４「山東地域施設別利用者割合推移」

※長岡学園は R1.4 月、柏原こども園は R2.4 月から保育所から認定こども園に移行しています。

表２「山東地域施設別利用者内訳比較」

	H20（①）		R3（②）		②-①	
	利用者数	入所割合	利用者数	入所割合	利用者数	入所割合
山東幼稚園	111人	32.6%	39人	16.4%	▲ 72人	▲16.2pt
柏原こども園（柏原保育園）	52人	15.2%	48人	20.2%	▲ 4人	+5.0pt
長岡学園（長岡保育園）	78人	22.9%	74人	31.1%	▲ 4人	+8.2pt
大原保育園	100人	29.3%	77人	32.3%	▲ 23人	+3.0pt
合計	341人	-	238人	-	▲ 103人	-

現状・課題Ⅰ　まとめ

・山東幼稚園の就園児数減少が課題となっている。
・背景は山東地域の人口減少、保育所・認定こども園の利用を希望する保護者の増加による。
・人口減少、幼稚園利用者の減少から今後も就園児数が減少し集団の形成が困難になる可能性がある。

現状・課題Ⅱ　施設の老朽化

建築後 18 年以上を経過した木造建築である園舎および天狗の丘は、老朽化の進行により外壁の腐食や雨漏れ等修繕が頻繁に必要になる状況となっています。

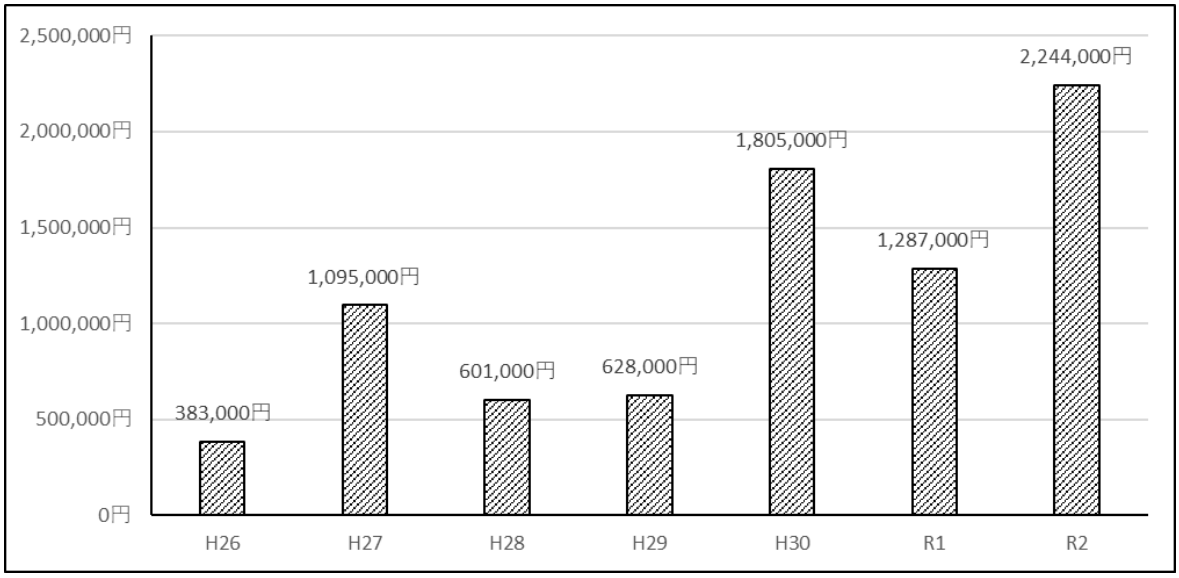


図５　山東幼稚園の老朽化等による修繕費用推移

また、令和元年度に実施した改修工事設計では、腐食が著しい外壁の全面的な改修や屋根の塗装などに、約１億２千万円の費用が必要となっています。

さらに今後は照明器具や電気・電信設備の修繕や更新も必要となり、多額の費用が要する見込みとなっています。

・園舎外壁腐食の状況

・雨漏れの状況

現状・課題Ⅱ　まとめ
・施設の老朽化により外壁の腐食による雨漏れ等修繕が頻繁に必要になっている。
・今後施設を維持するために多額の修繕費用が必要になる。

3　米原市幼稚園の在り方検討委員会の目的

こうした山東幼稚園の現状・課題から、市では「米原市幼稚園の在り方検討委員会」を設置しました。

検討委員会では様々な視点により今後の山東幼稚園の在り方について検討いただくことを考えています。以下は事務局側が提案する今後の進め方になります。

○　山東幼稚園、山東地域の幼児教育・保育に関する現状を調査により整理

※　調査方法（案）

・山東幼稚園利用者、山東幼稚園以外施設利用者、未就園児の保護者に幼児教育・保育に対するニーズのアンケート調査

・山東地域の幼児教育・保育関係者からのヒアリング

・施設の今後の維持管理・更新コスト試算

↓

○　調査結果をもとに、検討委員会内で今後の在り方について協議

↓

○　今後の山東幼稚園の在り方について、検討結果を市長に答申